

第7回教員研修事業アンケート回答

Q1参加動機	Q2感想等	Q3学習素材としての活用意向	Q4実施内容案または課題	Q5湿原の教育的な価値
友人に誘われて	充実した一日でした。身近な釧路川について深く学びました。起点から河口まで水質が守られていることも感動しました。			”自然を守る”といっても、その価値を知らなければ言葉で終わってしまいます。人間の生活と深くつながっていること、豊かな恵みがあることを”水”を通して教えられると思います。
社会的な事象も含めた湿原の水源に関わる講座ということで興味をひかれました。	植物がそこに生えているのには理由があるということを改めて教えられました。生きた知識として生徒に伝えていけたらと思っています。	検討していきたい	実体験を伴わせたいという思いが強くなるが、生徒数が1学年200～240いるので動きが色々とりにくい。	「実はスゴイ！」だと思います。ディスニーランドのような派手な魅力ではなく、ゆったりとした魅力を持っていること。そしてそれは、かけがえないもので、貴重なものということ。生徒は「釧路は下火だ」「魅力があまりない」と感じているように思う。生徒達が郷土に誇りをもてる、そんな教育的な価値があると思いました。
自然が好きで、自然の見方を学びたかったから	大変勉強になりました。ただ歩く、カヌーに乗るだけでなく、そこにある景色、風景の意味を知ることができ、本当に実り多い体験ができました。ありがとうございます。	ぜひ実施してみたい	自然にどっぷりとつかった体験活動を総合的な学習などで取り組みたい。	そこにしかない生き物、川、地形、暮らしがあり、それを礎に釧路やその周りの街が出来上がっており、子ども達はそこで生きているという点
今まで釧路湿原の調査等をしたことがなく、このような好機はまたとないと思い、参加しました。11月に釧路・東京の科学イベントで水質調査の実験をするので、実際の釧路川の各地点の値も実際に測って紹介していければと思います。	釧路川、湿原の源流がそのような山奥の素敵な自然環境にあり、そこからもたらされる水により、釧路地区の自然がもたらされているのがよくわかりました。また、カヌーによる川下りでは、瀬と淵など、流れの違いや植生などの違いが、いろいろな理由に基づいていることが実感としてわかり、何より、地元の素晴らしさを身をもってしました。子ども達、先生方にも今日の体験を伝えようと思います。	ぜひ実施してみたい	源流から各地点での水質の調査、カヌー下りによる自然観察	ゆるやかな流れは、子ども達に比較的近づきやすい。水と地面、動植物の関わりがわかりやすい形で見ることができる。素敵なガイドさんが多い。
勤務校がユネスコスクールに認定され、自分も現在ESDについて学んでいるところだったので、この講座の内容に興味を引かれ参加しました。	釧路川の起点は屈斜路湖だと思い込んでいたので、まずその先があったことに驚きました。しかも、その川の上流にあんな見事な滝が2つもあることにまた驚きました。川を下りながら植生の変化に規則性がある、しかもわかりやすく教えていただいたので、今後プライベートで下るときも、学校でやる時にも、役立てていきたいと思いました。	ぜひ実施してみたい	直接結び付けられるかまだわかりませんが、学校林と湿原との関わりについて教材化できたらと思います。	どのような切り口からでも学べると思うところだと思います。水、植物、動物、生活、歴史、地学・・・、すべての教材が揃っていると思います。
釧路湿原に入り釧路川、上流～下流について研修できる機会はなかなかないので、たいへん興味があったから	釧路川の始点は屈斜路湖と思い込んでいたので、そこへ流れ込む川を遡り、「川」「植物」等のお話を聞けたことは大変よかったです。農業と川の水についても知ることができ、標茶高校の取り組みなども、とても興味深い話でした。	検討していきたい	課題①移動手段と児童の安全のためと引率者確保です。②教材研究及び下見等の準備時間の確保	自然と生活、過去と現在のつながりについて、子ども達にとっての生きた教材になると思います。あまり大きなプロジェクトにしようせず、今扱っている単元に少しずつ取り入れられたらと思います。